

J-PAC (Japan Program at Chiba) 個人チューターおよびシニアチューター募集要項

千葉大学では、毎年4月と10月に始まるJ-PAC (Japan Program at Chiba)という留学生の受入れプログラムを実施しています。協定大学を中心とする海外の大学の学部生(2~4年生)を11か月間(または5か月間)千葉大学に受入れるプログラムです。

このたび 2024年度後期に国際教養学部に入学予定のJ-PAC生の個人チューターおよびシニアチューターを募集することになりました。興味のある方は、この要項を熟読した上で申し込んでください。

以下に説明するとおり、1対1で留学生と付き合う個人チューター候補者となるには、事前の研修を受ける必要があります。また、シニアチューターは、初めてチューターをする学生等のアドバイザーで、過去にJ-PAC生の個人チューターを経験した方になっていただくものです。個人チューターを兼ねることもできます。

・プログラムの概要、チューター制度については3ページ目以降に説明があります。

I. 個人チューター

1. 活動期間: 2024年度第4ターム

※実質的には留学生の来日前の9月中旬から活動を始めていただきます。

※活動時間が25時間に達しない場合は、第5タームまで期間を延長できます。

2. 活動時間: 25時間

3. 募集人数: 93名(予定)

4. 個人チューターの仕事(活動内容):

1) 留学生が、日本の生活、千葉大学での勉強に慣れることができるよう手助けをする。

2) 同世代の学生同士、相互理解を深め、互いに学び合う。

- ・ 来日前(9月11日ごろから): オンラインで質問に答えたりアドバイスをしたりする。
- ・ 来日後(9月20日ごろから): 日本での日常生活、千葉大学の学習環境に慣れるように手伝う。例) 生活用品の買物、日本語による書類作成などのサポート
- ・ 授業開始後: 授業関連のサポート、日本語の話し相手など

5. 応募条件: 以下の4つの条件を満たしていること。

- 1) 9月中旬以降、T4の間に、西千葉キャンパスにおいて、週2~3時間留学生を対面でサポートできること。
- 2) 担当留学生の希望やニーズをくみ取り、責任感を持って、積極的に行動できること。
- 3) 留学生とよりよい関係が作れるよう、他のチューターとも協力できること。
- 4) Moodle上での事前研修(オンデマンド方式)を8月9日(金)~8月18日(日)の間に受講し、9月9日(月)13:30~15:00に行うチューターガイダンス(オンラインで実施)に参加できること。事前研修の受講方法は以下のとおりです。課題を提出することでチューター候補者になれるので、早めに受講してください。

・コース名: 国際教養学部チューター候補者事前研修

・登録キーはチューターに応募する Google Forms のページに記載するので、必ず控えておいてください。

- 5) チューターに求められる書類(指導実施計画書、月間報告書、学期末報告書)を作成し、期限を守って提出できること。

ただし、次の方は4)の事前研修の受講は不要です。

J-PAC 生のチューターを経験した人

これまでに「留学生支援入門(1)または(2)」の単位を修得した人(または、2024年度のT3に修得見込みの人)

J-PAC 生のチューターになるために過去に Moodle 上での事前研修(オンデマンド方式)を受けたことがある人

※アルバイト、インターンシップ、論文作成などで時間的な制約が大きい方はご遠慮ください。

6. 謝金:チューターとしての役割を果たした学生には大学規定の謝金(時給1100円)が支払われます。
7. 応募方法:8月24日(土)までに「**国際教養学部 2024年度後期チューター応募用フォーム**」に URL(<https://forms.gle/sMq3yFUWQxJiyyW37>)または右の二次元コードからアクセスして申込んでください。応募理由や抱負などを書いていただきます。応募用フォームには、千葉大学の Google アカウントでアクセスする必要があります。
8. 選考方法: 応募用フォームへの記載内容、Moodle 上での事前研修の受講状況、留学生とのマッチングを考慮して選考し、9月2日(月)にメールで採否をお知らせします。申し込んだ人は必ずメールをチェックしてください。



II. シニアチューター

1. 活動期間: 2024年度 T4~T5

※実質的には留学生の来日前から活動を始めていただきます。

2. 活動時間: 15時間以内

3. 募集人数: 6名程度

4. シニアチューターの仕事(活動内容):

- 1) 個人チューター7~8名ほどで組織するチューターグループのまとめ役をする。具体的には、LINE グループを作って、個人チューターに声を掛け、留学生との関係づくりや活動内容について情報交換やアドバイスをする。
- 2) 担当グループのチューターがスムーズに活動できるよう、10月下旬にミーティングを開き、活動状況を把握して、国際教養学部国際交流委員の担当教員に報告する。

5. 応募条件: 以下の2つの条件を満たしていること。

- 1) これまでに J-PAC 生のチューターを経験したことがあること(回数は問わない)。
- 2) 2024年度 T4~T5 の間に上記の活動をする時間的な余裕があること。活動は主にオンラインを予定している。
- 3) 9月9日(月)13:00~15:00に予定しているシニアチューター・個人チューター対象のガイダンス

(オンライン)に参加できること。

シニアチューターと個人チューターの両方を務めることもできる。

6. 謝金:実働時間に応じて謝金(時給 1500 円)を支払います。
7. 応募方法:8 月 24 日(土)までに「**国際教養学部 2024 年度後期チューター応募用フォーム**」(個人チューターと同一フォーム)で応募してください。
8. 選考方法:応募用フォームへの記載内容にもとづき、9 月 2 日(月)にメールで採否をお知らせします。

問い合わせ

国際教養学部国際交流委員会 見城悌治 kenjo@faculty.chiba-u.jp

J-PAC コーディネーター(国際教養学部) 吉野文 ayoshino@faculty.chiba-u.jp

【チューターに応募する前に】

1. J-PAC とは(<https://cie.chiba-u.ac.jp/programs/index.html> 参照)

J-PAC (Japan Program at Chiba 千葉大学短期交換留学プログラム)は、「日本研究コース」と「国際教養コース」の2つのカテゴリーがあり、前者は、日本語、日本学を専門とする学生を、後者はそれ以外の専門の学生を受け入れています。いずれも日本語を学習した経験があり、日本文化、日本語に興味を持っていることが参加条件となっています。ただし、学生の日本語力は、ゼロに近い人から上級の人まで様々です。

参加者のほとんどは、協定大学からの交換留学生で、多くが国際教養学部にも所属して、語学としての日本語科目、普遍教育科目、学部専門科目などを受講します。2024 年 10 月は、中国、台湾、韓国、タイ、インドネシア、ベトナム、オーストラリア、トルコ、ギリシャ、ドイツ、ロシア、フィンランド、英国、スペイン、アメリカ、カナダ、メキシコの大学から学生を受入れることになっています。

2. チューター制度とは

チューター制度は、千葉大学が行っている留学生支援事業の一つで、留学生を生活、勉強の両面で支援するために、受入れ大学である千葉大学の学生の中から適当な学生をチューターとして留学生に紹介するものです。チューターの役割は、留学生の身分、留学の目的、日本語能力などによって異なりますが、J-PAC 生の場合、1 ページ目の「活動内容」に記したようなことが期待されます。

チューターになった学生には、「何か質問されたら答える」といった受け身の態度ではなく、自ら状況を判断して積極的に行動することが望まれます。また、何よりも大切なのは、お互いに信頼し合える関係を築くことです。チューターを務めることは、チューター自身にとっても、自分とは異なるものの見方を学んだり、日本について改めて考えたりするきっかけとなります。自分自身のコミュニケーション能力を向上させるよい機会でもあります。

国際教養学部では、活動時間を 25 時間とし、J-PAC 生が特にサポートが必要な入学前後から最初の

タームを主な活動時期としています。

3. チューターとしての義務

Moodle の「2024-J-PAC チューターガイダンス(後期)」に登録し、指導実施計画書、月間報告書、学期末報告書を提出したり、必要に応じて開催されるミーティングに参加したりしなければなりません。詳しいことは採用された方を対象とする 9 月 9 日(月)のガイダンスでお知らせします。

4. FAQ

Q:学部1年生、大学院生でも個人チューターに申し込めますか。

A:応募条件を満たしていれば申し込めます。

Q:個人チューターは具体的にどんなことをすればいいのですか。

A:まず、お互いの専門、趣味、日常生活の話などして、距離を縮めるようにしましょう。タームの開始時には、千葉大学の各種システムの使い方を教えたり、履修する科目について相談に乗ったりしてください。来日直後は、身の回りの品を揃えるのを手伝ったり、教室や教科書の買い方を教えたりする必要もあります。ほかにも、授業の予習・復習を手伝う、サークルへの参加をサポートするなど、いろいろ考えられます。また、チューターの役割は、「教える・手伝う」だけに限定されるものではありません。留学生と会話をする中で、相手をよく理解し、自分自身のこともよく理解してもらえるように心がけ、活動を考えてください。相手との関係や活動内容について戸惑うことがあれば、シニアチューターと相談するようにしてください。

Q:いつから活動を始めるのですか。

A:2024 年度後期入学者には、9 月 11 日(水)のオンラインガイダンスでチューターを紹介します。来日するまでは、メール等で連絡を取り、オンラインで質問に答えたりアドバイスしたりしてください。来日後は、できるだけ早く直接会い、日本での日常生活、千葉大学の学習環境に慣れるように手伝ってください。

Q:個人チューターをする曜日・時間は決まっていますか。

A:決まっていません。留学生とよく話し合って調整してください。直接会う曜日・日時を決めておくことを強く勧めます。

Q:留学生とは英語で話すのですか。英語があまりできなくても個人チューターになれますか。

A:留学生はほぼ全員が日本語を学習しています。相手の日本語のレベルに合わせて、自分の日本語を調整して話すようにしてください。英語でのサポートが必要と思われる留学生には、相応の英語力がある方にチューターをお願いします。ただし、留学生は、チューターの英語の練習相手ではありません。また、英語以外の留学生の言語を学習している方には、積極的に応募していただきたいと考えています。

Q:担当留学生から、チューターでは対応できない質問を受けたようなときはどうすればいいですか。

A:個人チューターは、シニアチューターからアドバイスが受けられるよう LINE などを使ってグループを作りますので、まずシニアチューターに相談してみましょう。

J-PAC 生には、手続き上のことは留学生課の担当者に、科目の選択など授業に関することは J-PAC コーディネーターに尋ねるよう伝えています。また、来日後の留学生の生活面でのサポートは、留学生課内にある国際ナショナル・サポートデスク (<https://www.chiba-u.ac.jp/international/isd/index.html>) でも行っています。日本語に関する質問は、国際教育センター 2 階に「日本語支援室」 (<https://cie.chiba-u.ac.jp/support.html>) に在室するチューターも答えることができるので、利用するよう勧めてください。